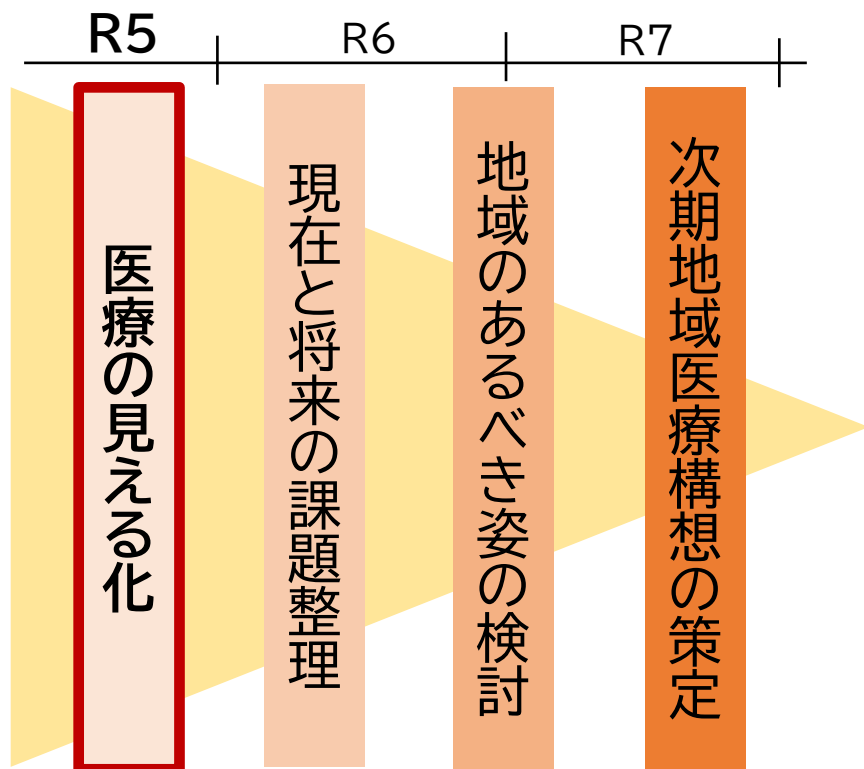
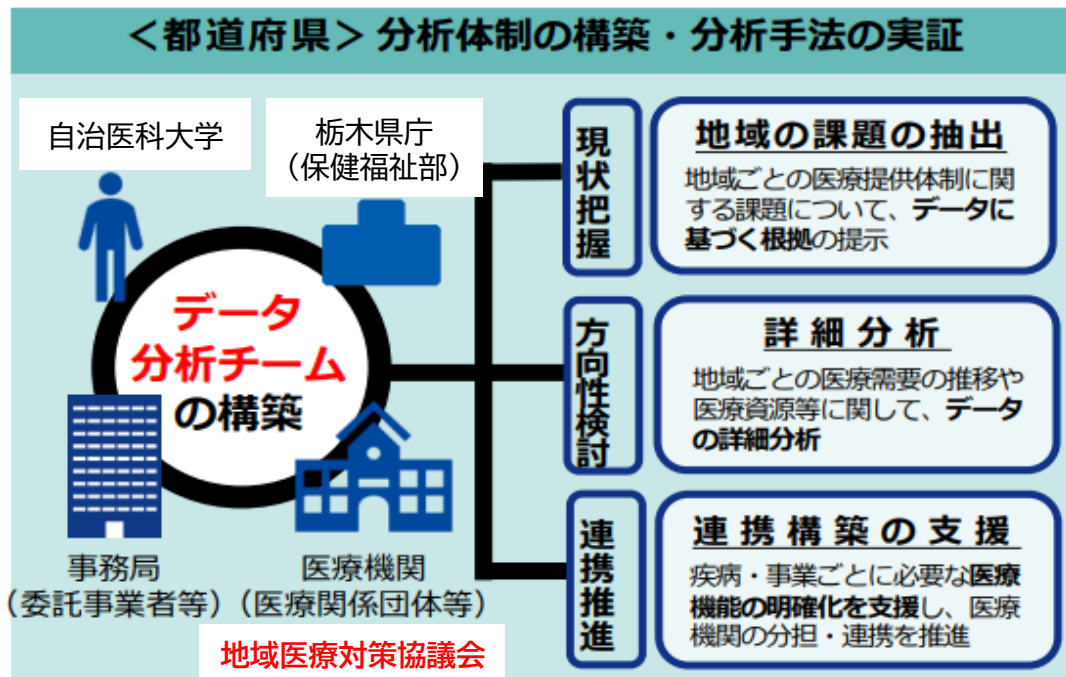


# 地域医療提供体制データ分析事業 における分析内容等

栃木県保健福祉部医療政策課

# 1 「地域医療提供体制データ分析事業」の概要

＜事業概要＞ ※厚生労働省補助事業を活用して実施



本事業によるデータ分析に係る取組を様々な分野へ幅広く展開



保健医療計画などの各計画の評価・検証



医療機能分化・連携などに係る地域における協議



施策の企画・立案 (県立病院の在り方検討など)



データの分析や評価の方法などの習得 (県職員等)

## 2 分析内容等の検討体制について

### 地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業実施要綱（一部抜粋）

#### データ分析項目の検討体制の整備

都道府県は、データ分析チームが分析する項目について、以下の者を参考に当該都道府県に設置・所在する者で構成するデータ分析項目の検討体制を整備する

- ① 診療に関する学識経験者の団体その他の医療関係者
- ② 地域医療構想アドバイザー
- ③ 地域医療対策協議会の構成員または、地域医療支援センターのキャリアコーディネーター等の医師確保計画における医師確保の取組に携わる大学の医師

※ 既存の会議体で検討することでも差し支えない

#### 「栃木県地域医療対策協議会」での分析内容等の検討

#### 検討事項

データ分析項目の検討にあたっては、地域の実情に応じて設定することとするが、具体的には以下の事項等が検討項目として想定される

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"><li>① <u>当該事業で「見える化」する必要がある現在の地域の課題</u></li><li>② <u>データ分析項目および各分析項目の趣旨および分析方法</u></li><li>③ データ分析に基づく構想区域毎の医療提供体制の評価</li><li>④ 地域医療構想調整会議での意見を踏まえたデータ分析項目の見直し</li><li>⑤ 評価や見直しを踏まえた構想区域毎の今後対応すべき具体的な課題</li></ol> | } <u>今回、特に御意見を伺いたい事項</u> |
|---|--------------------------|

## 3-1 分析内容（予定）

保健医療計画における5疾病6事業及び在宅医療等の提供状況を中心に分析予定

- ✓ がん、心・脳血管疾患、精神疾患、救急医療、周産期医療、在宅医療、医療(病床)機能などを対象
- ✓ 地域住民の受療状況、医療機関・医療圏単位の医療提供状況、新型コロナウイルス感染症の影響などを分析

(分析内容の例)

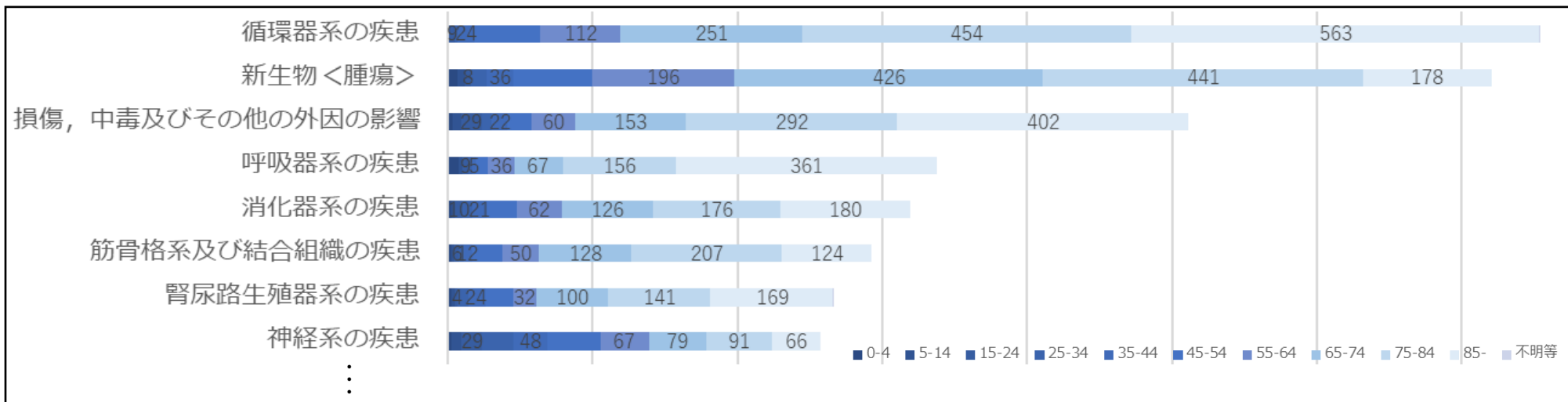
- 市町や医療圏ごとに県民が、どのような病気(主傷病名)で、どの医療機関(医療機関コード・医療機関所在地)を受診(外来、救急、入院)しているか(医療レセプト：診療行為) + 市町、医療圏で比較
- 在宅医療・介護の利用状況(医療・介護レセプト)
- どのような場合に医療圏をまたぐ医療機関への受診がされているのか(主傷病名、医療レセプト)  
※医療圏ごとの患者の流出入の状況
- 新型コロナウイルス感染症の発生前・感染拡大時・分類位置づけ変更後の県民の受診、医療機関が提供する医療(外来、救急、入院、在宅医療)にどのような変化が、どの程度生じたか

【特定のテーマとして検討していること】

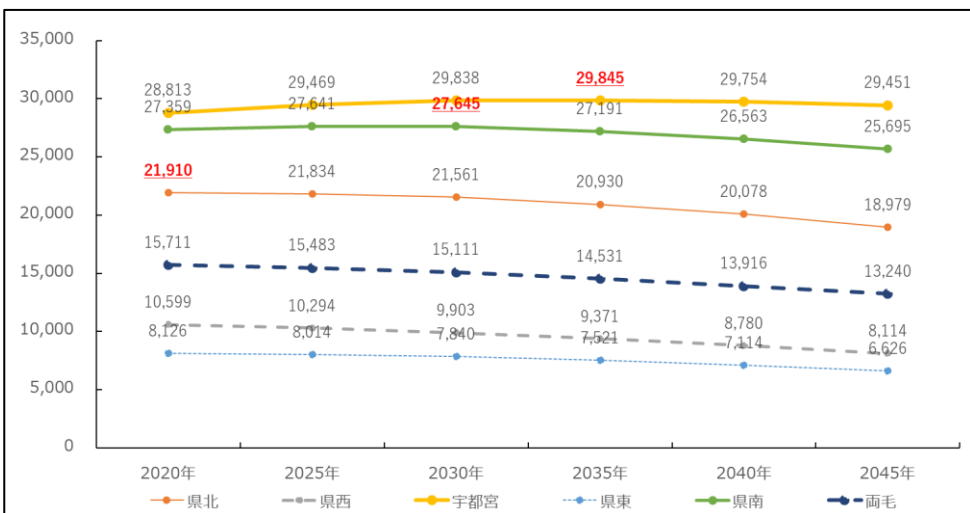
- ◆ 救急分野／救急患者、脳卒中や心疾患（AMI、AD等）患者の緊急受入状況
- ◆ 医療費適正化計画の評価／特定健診・特定保健指導の効果分析

# 3-2 分析内容 (イメージ)

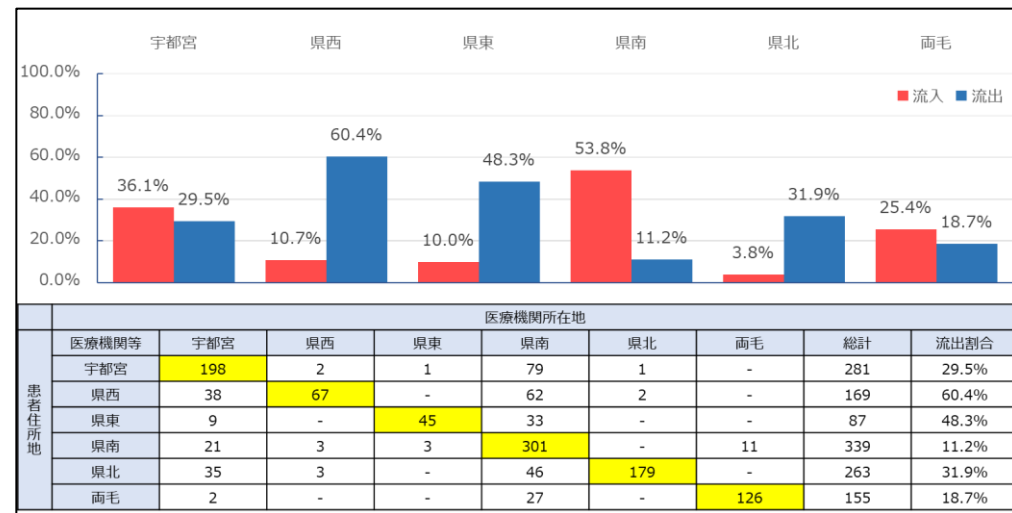
## 入院患者数 (年齢階級別・主傷病小分類)



## 推計外来患者数



## 主傷病 (がん) : 患者住所地×入院地域 (一般及びその他の病棟)



## 4 活用データ

### 国保・後期高齢者医療に係るデータベース等のレセプト関連データ

- 対象が国保加盟者・後期高齢者に限定されるが、患者単位での診療内容の把握
- 県内25市町、後期高齢者医療広域連合から本事業におけるデータ利用について同意を取得済み
- 栃木県国民健康保険団体連合会とデータ取得に向けて調整中(データ期間:H31.4～最新月診療分)

### DPCデータ

- 医療機関単位での急性期医療を中心とした診療内容の把握
- 国の調査参加医療機関の同意を得て収集
- 対象となる県内66病院のうち、62病院からデータを取得済み(データ期間:H31.4～R5.6診療分)

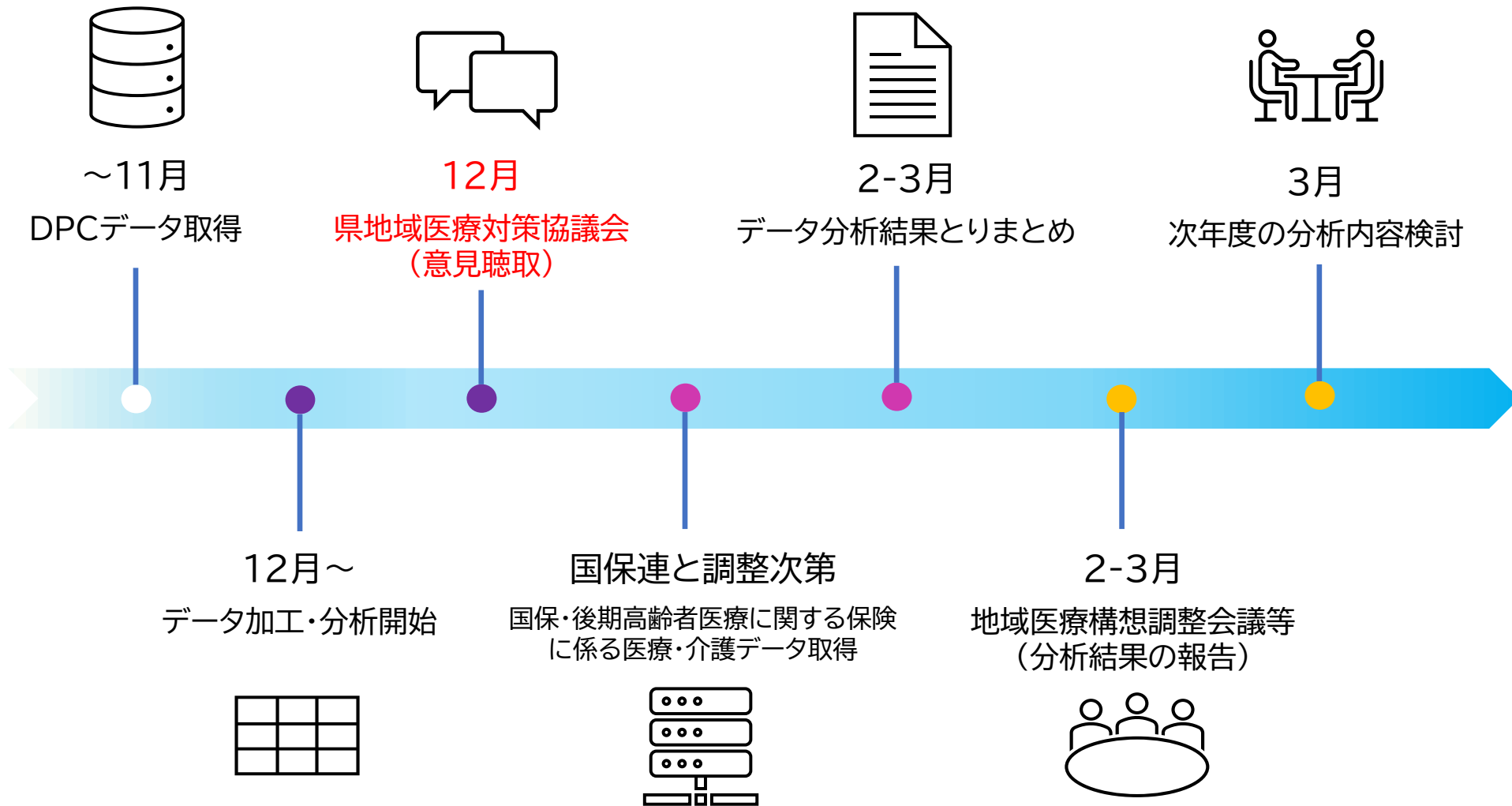
### NDBデータ

- オープンデータの活用を想定
- 限定的だが、DPCデータで把握困難な情報も含まれる
- 分析内容に応じて、NDB本体のデータ利用申請も検討

### その他

- 病床機能報告
- 人口動態統計、将来人口推計、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査 など

# 5 スケジュール(R5年度) ※予定



## 伺いたいこと

- ① 医師の確保や適正な配置の検討に当たり、明らかにすべきデータについて
- ② データにより「見える化」すべき地域の課題について
- ③ 分析対象としたほうがよい事項（テーマ）について
- ④ 分析結果の評価や地域へのフィードバックの方法など事業全般に関することについて

### （参考）県で分析を検討している事項

- 市町や医療圏ごとに県民が、どのような病気で、どの医療機関を受診（外来、救急、入院）しているか
- どのような場合に医療圏をまたぐ医療機関への受診がされているのか
- 新型コロナウイルス感染症の発生前・感染拡大時・分類位置づけ変更後の県民の受診、医療機関が提供する医療（外来、救急、入院、在宅医療）にどのような変化が、どの程度生じたか
- 在宅医療・介護の利用状況
- 救急分野／救急患者、脳卒中や心疾患（AMI、AD等）患者の緊急受入状況
- 医療費適正化計画の評価／特定健診・特定保健指導の効果分析

など